

令和5年大網白里市議会 第4回定例会 市長事務報告

12月4日から22日まで、市議会第4回定例会が開催されました。開会日に、市長から事務報告がありましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

台風による災害対応

市では、台風13号の接近に伴い、災害対策本部を設置し、風水害第2配備体制を敷いて災害対応にあたる一方、災害対応を締結している市災害対策協会および市建設業災害対策協力会に緊急対策業務の協力を要請し、市内各所で発生した道路や水路等の破損箇所の機能確保・復旧に努めました。その結果、応急対策に一定の目処が付きましたが、農地や水路内に堆積した土砂の撤去、被災者の生活再建に向けた支援が必要のため、「台風13号災害復旧復興調整会議」を立ち上げ、一日も早く元の生活を取り戻せるよう、引き続き全庁一丸となって取り組み、早期の復興に向けた各種支援を進めます。

河川改修は、以前より両河川を含む南白亀川水系の事業促進を関係市町と国・県に要望を行ってまいります。本年度も8月に要望に伺いましたが、今回の台風によりJR大網駅・永田駅周辺で4年前の大雨被害に相当する浸水被害があったことから、あらためて11月27日に県を訪問し、南白亀川水系河川整備計画の抜本的な見直しの検討や、両河川の未整備区間の早期完成および被災した護岸崩落箇所の早期復旧などを要望しました。

防災訓練

大規模地震への対応と防災意識の向上を目的に、11月26日に「総合防災訓練」を実施しました。訓練では、大網小学校区にお住まいの方を対象とした避難訓練のほか、メイン会場

の救命救急、応急給水などの市民参加型体験訓練、炊き出しや災害ボランティアセンター設置訓練などを実施。また、みどりが丘自治会館で、自治会、自主防災組織向けに避難所運営訓練を実施しました。

防災意識の高揚と地域防災力の機能強化を図りながら、防災・減災対策を進めます。

財政関係

令和5年度の財政状況は、

税収は前年度実績を若干上回る状況で推移しているものの、長期化する物価高騰への対応や、台風13号の被災への対応など、臨時的な経費の増加により、依然厳しい状況です。

物価高騰の影響を受ける市民への各種支援策や、台風災害の復旧・復興に係る事業は、各補正予算で所要額を優先的に確保しながら対応していますが、財政健全化に向けた取

り組みを着実に前進させる必要があることから、歳入の1層の確保と、執行段階でのさらなる経費の節減に努めます。

ふるさと納税は、当初の見込みを上回る推移を示していることから、今回、12月補正予算案で関係経費を増額計上しました。今後も、自主財源の確保に取り組みます。

令和6年度の予算編成は、前期基本計画の4年目として、各種施策を着実に推進することが求められますが、人口減少等により基幹財源である市税の伸びが期待できない中、社会保障費や人件費の増加に加え、喫緊の課題である公共施設・インフラの老朽化対策への経費の増加などが見込まれます。

引き続き歳入・歳出面の見直しを徹底し、10年後・20年後の市の未来を見据えながら、重要な政策課題である「公共施設・インフラの老朽化・防災対策」「DXの推進」「人口減少対策」の3点に対し予算の重点化を図ることとしました。財政健全化と重要政策課題の両面で十分な対策を講じながら、持続可能な財政運営を目指します。

公有財産関係

市の玄関口であるJR大網駅前広場は、歩道部分の一部がJR用地のため、敷地の全面市有化に向け協議を進めていきましたが、当該駅前広場のJR用地と金谷郷のJR東日本大網保線技術センター隣接の市有地の一部とを等価交換することで協議が整いました。年内を目途に所有権移転登記が完了します。

物価高騰により影響を受けている市民の方々の支援

生活の応援・地域経済の回復を図るため、昨年に引き続き、「大網白里市元気回復クーポン券」を発行しました。1人3,000円分のクーポン券を世帯ごとに郵送しています。1月31日(火)までご利用いただけますので、活用ください。

また、住民税非課税世帯等の低所得世帯に対し、1世帯当たり7万円の給付金を支給予定で、現在、調整を図っています。市議会承認が得られた際は、速やかに対象世帯に給付金が行き渡るよう、市広報紙やホームページを活用して周知します。

このほか、政府の支援を原資に値引きを行っている市営ガスの料金は、令和6年1月の検針分で終了する予定でしたが、延長する方針が盛り込まれたことから、令和6年4月使用分まで1立方メートル当たり税込み15円の値引きを継続するとともに、5月使用分は値引き幅を縮小して実施する方向で検討しています。



新型コロナウイルス感染症対策

「秋開始接種」として、ワクチン接種が可能となすすべての年齢の方を対象に、ワクチン

高齢者福祉

の接種に取り組んでいます。11月末時点の接種状況は、12歳以上の接種者数が11,524人、接種率28.9%となっており、65歳以上の高齢者の方は8,136人、接種率は48.3%となっています。

引き続き、国の方針に基づいたワクチン接種業務を適切に遂行し、希望者が円滑に接種できるように、接種体制の整備を進めます。

障害福祉

本市の「第3次障がい者計画」、「第6期障がい福祉計画」、「第2期障がい児福祉計画」の各計画は、令和2年度に策定し、市の障害福祉サービスの基礎として現在に至りますが、計画策定時から一定年数が経過した中で、現在、「障がい者計画」は、この間の法令改正や社会情勢等を反映した計画の見直しを、また、「障がい福祉計画」、「障がい児福祉計画」は、新たな計画の策定作業を行っています。

計画の見直し・策定に関し、障害者関係団体や障害福祉サービス事業所とのヒアリング結果を踏まえた計画案の承認を諮ると共にパブリックコメントを実施し、広く意見を伺った上で、策定作業を進めます。

高齢者福祉

第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の中で位置付けている認知症高齢者グループホームの整備は、昨年度・本年度の2回、整備事業者である「特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎」で建設工事の入札を実施しましたが、資機材の高騰などの影響により入札は不調に終わり、同法人から本年度内の整備は難しい旨の報告がありました。

これを受け、市では、9月に介護保険運営協議会を開催し、今回の計画期間内での施設整備を見送る方針を決定しましたが、本市にとって認知症高齢者グループホームの整備は必要なものと考えているため、令和6年度から令和8年度の整備に向け、あらためて検討します。

市制施行10周年記念事業

10月22日に大網白里アリーナで行われたテレビ東京の人気番組「開運!なんでも鑑定団」の公開収録では、約1,000人の市民の方々に観覧いただき、盛況のうちに収録を終えることができました。

また、10月28日、29日に開催された産業文化祭「文化の部」では、各公民館等で活動する教室・同好会や地域で活動する市民の方々による作品展示やステージ発表を行い、11月18日に開催された産業文化祭「産業の部」では、恒例の朝市組合や商工会青空市による地場産品の販売、各種団体の活動PRを兼ねた展示即売が行われたほか、姉妹町中之条町も4年ぶりに参加いただき、特産品を販売しました。

年明けからは、「白里海岸元旦祭」、「新春マラソン大会」が行われます。市制施行10周年を記念して行われた各種事業と同様、さまざまなイベントで本市の魅力を生内外に発信します。

二十歳の成人式

大人になったことを自覚し、期待される社会人として成長していくための契機となることを目的とし、1月7日(日)に大網白里アリーナを会場として「令和6年二十歳の成人式」を開催します。例年と同様、



▲「開運!なんでも鑑定団」公開収録の様子

議長に小金井勉議員 副議長に石渡登志男議員



小金井勉議員



石渡登志男議員

改選後初の議会となる市議会第4回定例会において、新しい議長と副議長が決まりました。議長には、小金井勉議員、副議長には石渡登志男議員が就任しました。

☎ 議会事務局 0475(70)0390